

平成22年4月7日

各位

上場会社名 株式会社 カワサキ
 代表者 代表取締役社長 川崎 治
 (コード番号 3045)
 問合せ先責任者 管理部部长 堀田 義行
 (TEL 072-439-8011)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ22年1月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年8月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年9月1日～平成22年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,377	81	△56	△57	△45.19
今回発表予想(B)	1,364	116	△73	△64	△50.94
増減額(B-A)	△13	35	△17	△7	
増減率(%)	△0.9	43.2	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年8月期第2四半期)	1,400	32	△704	△225	△172.03

平成22年8月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,850	205	56	26	20.61
今回発表予想(B)	2,816	250	49	5	4.59
増減額(B-A)	△34	45	△7	△21	
増減率(%)	△1.2	22.0	△12.5	△80.8	
(ご参考)前期実績 (平成21年8月期)	2,794	85	△563	△149	△114.66

平成22年8月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年9月1日～平成22年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,096	116	△24	△25	△19.82
今回発表予想(B)	1,109	123	△69	△69	△55.21
増減額(B-A)	13	7	△45	△44	
増減率(%)	1.2	6.0	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年8月期第2四半期)	1,128	102	△637	△201	△53.51

平成22年8月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,176	222	67	38	30.13
今回発表予想(B)	2,235	243	36	△9	△7.18
増減額(B-A)	59	21	△31	△47	
増減率(%)	2.7	9.5	△46.3	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年8月期)	2,144	168	△484	△116	△89.43

修正の理由

1 第2四半期連結累計期間連結業績予想及び累計期間個別業績予想修正の理由

(連結)

売上高は前回発表から13百万円(0.9%)減少し、1,364百万円となる見込みであります。利益面におきましては、営業利益が前回発表から35百万円(43.2%)増加し、116百万円となる見込みであります。経常利益は前回発表から17百万円減少し、△73百万円となる見込みであります。この要因は前回発表時に計上した「包括的長期為替予約」の評価損約127百万円が、当第2四半期連結会計期間末には、幾分円高方向に作用したことで約21百万円増加し、約148百万円となったためであります。また、賃貸倉庫の譲渡による固定資産売却損が約36百万円となったためであります。四半期純利益は前回発表から7百万円減少し、△64百万円となる見込みであります。

当社が行っている「包括的長期為替予約」は実需に対応し、仕入コストの安定化のために実施しており、投機目的によるものではありませんが、ヘッジ会計の要件を満たしていないため、期末ごとに時価評価した上で損益処理しております。

(個別)

売上高は前回発表から13百万円(1.2%)増加し、1,109百万円となる見込みであります。利益面におきましては、営業利益が前回発表から7百万円(6.0%)増加し、123百万円となる見込みであります。経常利益は前回発表から45百万円減少し、△69百万円となる見込みであります。この要因は前回発表時に計上した「包括的長期為替予約」の評価損約127百万円が、当第2四半期連結会計期間末には、幾分円高方向に作用したことで約21百万円増加し、約148百万円となり、賃貸倉庫の譲渡による固定資産売却損が約36百万円となったためであります。四半期純利益は前回発表から44百万円減少し、△69百万円となる見込みであります。

2 通期連結業績予想及び通期個別業績予想修正の理由

第2四半期連結累計期間連結業績予想及び累計期間個別業績予想修正の理由と同一であります。

当会計年度末の為替レート(対ドル円、対ユーロ円)が第2四半期会計期間末の為替レートと同一と想定すると当会計年度決算(連結・個別)においても「包括的長期為替予約」の評価損約147百万円を営業外費用(為替差損)に、固定資産売却損約36百万円を特別損失に計上することになりますので、経常利益、当期純利益とも前回予想を下回る見込みであります。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上